

目次

豊科東小学校周辺の自然観察の報告	..... (山田徳生)	..... 1
せせらぎ (事務局だより)	..... (事務局)	..... 3

年次報告、ニュースレター原稿を募集します  
意見・要望をお気軽に連絡下さい  
会費納入のお願い  
助成金情報

## 豊科東小学校周辺の自然観察会の報告

山田 徳生

10月6日(土)に安曇野市田沢の豊科東小学校周辺で、水路の自然観察会を行いました。

観察は午前中に行い、吉田先生をはじめ、7名が参加しました。この場所については、当研究所のNEWS LETTER No2 (2006年7月31日)において山田が概要を報告しました。

当日は生き物の専門家の皆さんによって、水路の中の水生昆虫、魚類等について観察が行われ、次のような生き物の生息が確認されました。(写真1~4)

魚類: ドジョウ、シマドジョウ、ウグイ、アブラハヤ、カジカ

両生類: トウキョウダルマガエル、トノサマガエル、前2種の混雑種

水生昆虫: タイコウチ、コオイムシ、ミズスマシ類、オナシカワゲラ類、トビケラ類、ガガンボ類

その他: サワガニ、カワニナ、コモチカワツボ、プラナリア

(以上は筆者の聞き取りメモによります)



写真2



写真3



写真1



写真4

小学校駐車場のすぐ脇のコンクリート水路には、ドジョウがかなり多数生息していました。また、タイコウチがタモに入っているのを見て感激しました。一方、ここでは外来種のコモチカワツボの生息密度が高いことが指摘されました。

段丘崖の湧水が出ている斜面に設けられているフトンカゴにはサワガニが非常に密に生息していました。穴という穴のほとんど全部にサワガニが入っていました。

田沢団地横の水路の中ではウグイ（幼魚）やアブラハヤ、カジカが数多く生息していました。

以前のNEWSLETTERで筆者は、ドジョウが生存の危機に面しているような感想を記しましたが、それとは違って、実際にはドジョウの生息密度が比較的高く、またその他にも多くの生き物が生息していることを知りました。その意味で、ここが水田環境のなかで貴重なビオトープになっていることを再認識しました。

コモチカワツボは下流の明科付近に多く観られるとのことで、カワニナの生存を脅かす可能性があるといわれます。また、この付近でもセイダカアワダチソウが目につき、外来生物が進出している実態をも観察しました。

その後、筆者は観察エリアから下流部の水路（写真5～10）を歩いてみました。水路は犀川支流の濁沢川に流入し（写真9）、そのすぐ先で犀川に合流しています（写真10）。その間の水路は最下流部が土水路（写真7、8）ですが、大部分はコンクリート水路（写真5）になっています。コンクリート水路の中では、ドジョウ、カワニナ(?)、コモチカワツボ、サワガニ、ヤゴ、イトミミズ、シマイシビル(?)などがみられ、アカネトンボが産卵を行っていました。また、濁沢川との合流部付近は湿地帯になっており、ミズカマキリがタモに入り、ウグイと見られる幼魚が群れをなして泳いでいました。水路は犀川と特に支障なくつながっております。

水路の源流部は湧水で涵養され、また、途中からの湧水も加わるので四季を通じて流水があり、水生昆虫等の生存や繁殖が可能であるものと思われます。（写真6は旧水源地の井戸から排出されている地下水で、冬季にも湧出しています）また、犀川との連絡が確保されているので、ウグイ等の魚類は水路を稚魚期の避難場所にしてのいるのかもしれない。

なお、当日は水田の所有者の一人である、花村さんにもお会いし、この地域が“幅”と呼ばれる湧水地帯で、以前、水田に暗渠排水を行ったことや、ホタルが多く

見られたこと、また、小学生が生き物の観察を行っていることなどを伺いました。



写真5



写真6



写真7

源流部から犀川合流部までの水路は約1.3kmあります。コンクリート水路になっていますが、まだ、農村地域の自然環境が豊かに残っていると思います。小学生や教師、地域の皆さんとともに貴重な環境を認識し、保全さらには改善してゆく必要があると思います。



写真8



写真10



写真9

田沢東小学校周辺の水路の分布は次ページの地形図に示しました。

なお、当日の参加者は吉田利男先生、東城幸治先生、中垣明子さん、長久保麻子さん(信大)、松井一晃さん、松本章夫さんおよび山田徳生でした。(原稿が大変遅くなりました。また、写真のできが良くありませんでした。お詫び申し上げます)

せせらぎ (事務局だより)

◎年次報告、ニュースレターの原稿を募集します

6月末を目標に、年報を発行する予定です。研究報告、随筆、感想文、紀行文など、水に係わる内容であればジャンルは問いませんので、是非とも投稿をお願いいたします。投稿先は、[m-info@smcf.org](mailto:m-info@smcf.org) または郵送でも構いません。よろしくをお願いいたします。

◎意見・要望をお気軽に連絡ください

身近な場所だけでなく、新聞等でトピック的なテーマについて観察会・視察の実施、更なる情報の入手等の要望がございましたら、お知らせください。

◎会費納入のお願い

平成19年度会費を未納の方は、納入をお願いします。  
郵便振替 口座番号 00530-8-58581  
口座名称 特定非営利活動法人 川の自然と文化研究所

◎助成事業情報の紹介

財団法人河川環境管理財団

平成20年度 河川整備基金助成事業

<http://www.kasen.or.jp/info/info.asp?infoid=273>

応募締切：平成20年1月31日

財団法人日立環境財団

平成20年度(第7回)環境NPO助成事業

<http://www.hitachi-zaidan.org/kankyo/topics/topics30.html>

応募締切：平成20年1月25日

独立行政法人環境再生保全機構

平成20年度地球環境基金助成

<http://www.ne.jp/asahi/defense/green/>

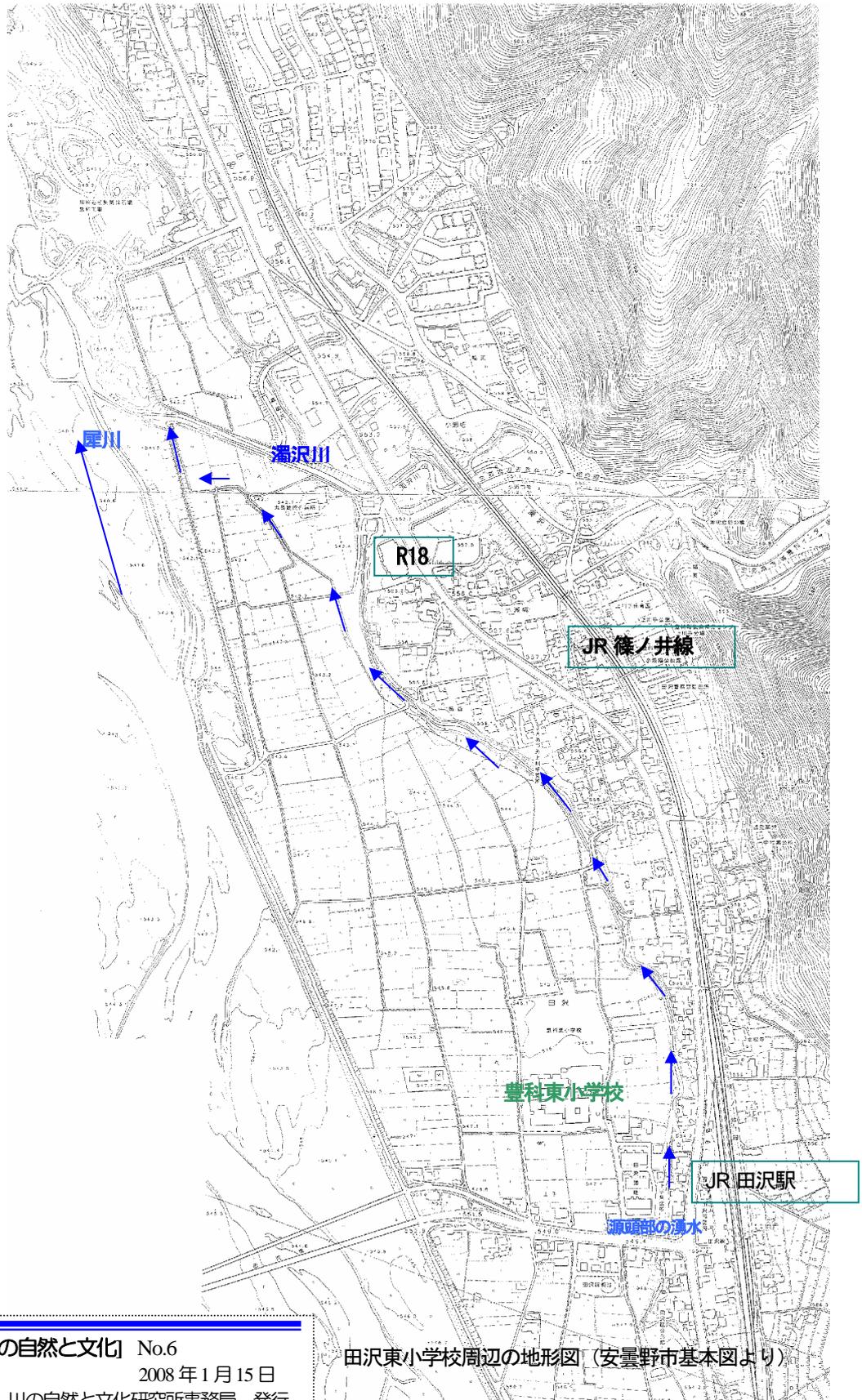
応募締切：平成20年1月25日

三菱財団

三菱財団自然科学研究助成

<http://www.mitsubishi-zaidan.jp/>

応募締切：平成20年2月4日



NEWS LETTER **川の自然と文化** No.6  
 2008年1月15日  
 特定非営利活動法人 川の自然と文化研究所事務局 発行  
 〒390-8205 長野県安曇野市豊科 2209 番地 11  
 TEL/FAX (0263)72-3768  
 HP <http://www.smcf.org> e-mail: m-info@smcf.org

田沢東小学校周辺の地形図 (安曇野市基本図より)